

大学番号：私060

注3

[平成25年度設置]

計画の区分：学部の学科設置

注1

届出

敬愛大学 経済学部 経営学科

注2

## 【届出】設置に係る設置計画履行状況報告書

学校法人 千葉敬愛学園  
平成27年5月1日現在

### 作成担当者

担当部局（課）名 修学支援室

職名・氏名 ダイカクムキョクシチュウ 大学事務局次長 カフジ 加藤 シゲオ 茂夫

電話番号 043-251-6363

（夜間） 043-251-6363

F A X 043-251-6407

e - mail kyohmu@u-keiai.ac.jp

(注) 1 「計画の区分」は設置時の基本計画書「計画の区分」と同様に記載してください。

2 大学院の場合は、表題を「〇〇大学大学院・・・」と記入してください。

設置時から対象学部等の名称変更があった場合には、表題には設置時の旧名称を記載し、その下欄に（ ）書きにて、現在の名称を記載してください。

例) 〇〇大学 △△学部

(□□学部(平成◇◇年度より変更))

表題は「計画の区分」に従い、記入してください。

例)

- ・学部の設置の場合：「〇〇大学 △△学部」
- ・学部の学科の設置の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科」
- ・短期大学の学科の設置の場合：「〇〇短期大学 △△学科」
- ・大学院の研究科の設置の場合：「〇〇大学大学院 〇〇研究科」
- ・通信教育課程の開設の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科(通信教育課程)」

※「留意事項実施状況報告書」の場合は、表題を修正してください。

3 大学番号の欄については、平成27年3月30日付事務連絡「大学等の設置に係る設置計画履行状況報告書等の提出について(依頼)」の別紙に記載のある大学番号を記載してください。

平成27年度

設置計画履行状況等報告書

敬 愛 大 学

# 目次

経済学部

<経営学科>

	ページ
1. 調査対象大学等の概要等 . . . . .	1～ 4
2. 授業科目の概要 . . . . .	5～12
3. 施設・設備の整備状況、経費 . . . . .	13～14
4. 既設大学等の状況 . . . . .	15～16
5. 教員組織の状況 . . . . .	17～27
6. 留意事項等に対する履行状況等 . . . . .	28
7. その他全般的事項 . . . . .	29～34

# 1 調査対象大学等の概要等

## (1) 設置者

学校法人 千葉敬愛学園

## (2) 大学名

敬愛大学

## (3) 大学の位置

〒263-8588  
千葉県千葉市稲毛区穴川一丁目5番21号

- (注)・対象学部等の位置が大学本部の位置と異なる場合、本部の位置を( )書きで記入してください。  
・対象学部等が複数のキャンパスに所在する場合には、複数のキャンパスの所在地をそれぞれ記載してください。

## (4) 管理運営組織

職名	設置時	変更状況	備考
理事長	( サハ イ トオ ) 三 幣 利 夫 (平成25年4月)		
学 長	( サハ イ トオ ) 三 幣 利 夫 (平成24年6月)		
学 部 長	<del>( ナカヤマ イサヲ )</del> <del>中 山 幸 夫</del> <del>(平成23年4月)</del>	( フジイ ヒロオ ) 藤 井 輝 男 (平成27年4月)	任期満了に伴う変更(27)
学科長等	( アキモ ヒデアキ ) 青 木 英 一 (平成25年4月)		経営学科設置による 平成25年4月(25)

- (注)・「変更状況」は、変更があった場合に記入し、併せて「備考」に変更の理由と変更年月日、報告年度を( )書きで記入してください。

(例)平成25年度に報告済の内容 (25)

平成27年度に報告する内容 (27)

- ・昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更があれば、「変更状況」に赤字にて記載(昨年度までに報告された記載があれば、そこに赤字で見え消し修正)するとともに、上記と同様に、「備考」に変更理由等を記入してください。
- ・大学院の場合には、「職名」を「研究科長」等と修正して記入してください。

(5) 調査対象学部等の名称, 定員, 入学者の状況等

- (注)・当該調査対象の学部の学科または研究科の専攻等, 定員を定めている組織ごとに記入してください(入試区分ごとではありません)。  
 ・様式は, 平成24年度開設の4年制の学科の場合(平成27年度までの4年間)ですが, 開設年度・修業年限に合わせて作成してください。(修業年限が3年以下の場合には欄を削除し, 5年以上の場合には, 欄を設けてください。)

(5) - 調査対象学部等の名称, 定員

調査対象学部等の名称(学位)	設置時の計画				備考
	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	
経済学部 経営学科 学士(経営学)	4年	110人	2年次 3人 3年次 3人	455人	学科の定員は、110名であるが、入学時には学科の選択がなく、2年次進級時に学科選択制としている。

- (注)・定員を変更した場合は, 「備考」に変更前の人数, 変更年月及び報告年度を( )書きで記入してください。  
 ・学生募集停止を予定している場合は, 「備考」にその旨記載してください。

(5) - 調査対象学部等の入学者の状況

区分	対象年度		平成24年度		平成25年度		平成26年度		平成27年度		平均入学定員超過率	開設年度から提出年度までの平均入学定員超過率	備考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期			
A 入学定員	人	人	225人	人	225人	人	225人	人	(3)	(3)	0.91倍	「 - 」倍	2年次編入定員 3名 3年次編入定員 3名  経済学科、経営学科の学科選択は、2年次進級時とするため学部合計での定員超過率で計算。
志願者数	( )	( )	317	-	295	-	342	-	((4))	((3))			
受験者数	( )	( )	312	-	289	-	336	-	((4))	((3))			
合格者数	( )	( )	305	-	287	-	326	-	((4))	((3))			
B 入学者数	( )	( )	194	-	188	-	239	-	((4))	((1))			
入学定員超過率 B/A			0.86		0.83		1.06						

- (注)・数字は, 平成27年5月1日現在の数字を記入してください。  
 ・( )内には, 編入学の状況について**外数**で記入してください。なお, 編入学を複数年次で行っている場合には, (( ))書きとするなどし, その旨を「備考」に付記してください。該当がない年には「-」を記入してください。  
 ・[ ]内には, 留学生の状況について**内数**で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。  
 ・留学生については, 「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格(いわゆる「留学ビザ」)により, 我が国の大学(大学院を含む。), 短期大学, 高等専門学校, 専修学校(専門課程)及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。  
 ・短期交換留学生など, 定員内に含めていない学生については記入しないでください。  
 ・学期の区分に従い学生を入学させる場合は, 春季入学とその他の学期(春季入学以外の学期区分を設けている場合)に分けて数値を記入してください。春季入学の実施の場合は, その他の学期欄は「-」を記入してください。また, その他の学期に入学定員を設けている場合は, 備考欄にその人数を記入してください。  
 ・「入学定員超過率」については, **各年度の春季入学とその他を合計した入学定員, 入学者数で算出**してください。なお, 計算の際は**小数点以下第3位を切り捨て, 小数点以下第2位まで**記入してください。  
 ・「平均入学定員超過率」には, 開設年度から提出年度までの入学定員超過率の平均を記入してください。なお, 計算の際は「**入学定員超過率**」と同様にしてください。  
 ・「開設年度から提出年度までの平均入学定員超過率」は, 完成年度を越えて報告書を提出する大学(「改善意見等対応状況報告書」を提出する大学)のみ記入してください。「設置計画履行状況等報告書」の場合は「-」を記入してください。

(5) - 調査対象学部等の在学者の状況

学年	平成24年度		平成25年度		平成26年度		平成27年度		備 考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	
1年次	[ ] ( )	[ ] ( )	[40] ( ) 194	[ - ] ( - )	[14] ( )	[ - ] ( - )	[9] ( )	[ - ] ( - )	26年度入学者の留学生が、 留学ビザから家族滞在に変更のため入学時の人数と在籍人数に差異がある。(27)
2年次			[ ] ( )	[ ] ( )	[34] ( )	[ ] ( )	[13] ( )	[ - ] ( - )	
3年次							[ ] ( )	[ ] ( )	
4年次									
計			[ ] ( )	[40] ( ) 194	[48] ( )	[54] ( )			

- (注)・ 数字は、平成27年5月1日現在の数字を記入してください。
- ・ [ ]内には、留学生の状況について**内数**で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
  - ・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格(いわゆる「留学ビザ」)により、我が国の大学(大学院を含む。)、短期大学、高等専門学校、専修学校(専門課程)及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
  - ・ 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。
  - ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期(春季入学以外の学期区分を設けている場合)に分けて数値を記入してください。春季入学の実施の場合は、その他の学期欄は「-」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
  - ・ 「計」については、**各年度の春季入学とその他の学期を合計した在学者数、留学生数**を記入してください。
  - ・ ( )内には、留年者の状況について、内数で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。

( 5 ) - 調査対象学部等の退学者等の状況

区分 対象年度	入学者数(b)	退学者数(a)	退学者数(内訳)			主な退学理由	入学者数に 対する退学者数 の割合 (a/b)
			退学した年度	退学者数	退学者数の うち留学生数		
平成24年度 入学者	1 人	0 人	平成24年度	人	人		#VALUE! %
			平成25年度	人	人		
			平成26年度	人	人		
			平成27年度	人	人		
平成25年度 入学者	194 人	27 人	平成25年度	16 人	6 人	就職(4人)、就学意欲の低下(2人)、除籍(5人)、その他(5人)	0.1391753 %
			平成26年度	11 人	2 人	除籍(5人)、心身に関する事情(2人)、就学意欲の低下(1人)、学力不足(1人)、他の教育機関(1人)、家庭の事情(1人)	
			平成27年度	人	人		
平成26年度 入学者	188 人	10 人	平成26年度	10 人	2 人	就職(4人)、心身に関する事情(3人)、就学意欲の低下(2人)、その他(1人)	0.0531915 %
			平成27年度	人	人		
平成27年度 入学者	239 人	0 人	平成27年度	人	人		0 %
合 計	621 人	37 人					0.0595813 %

(注)・数字は、平成27年5月1日現在の数字を記入してください。

- ・各年度の入学者数については、該当年度当初に入学した人数を記入してください。(途中で退学者がいた場合でも、その退学者数を減らす必要はありません。)
- ・各年度の退学者数については、退学年度ごとに記入してください。また、留学生数欄の人数については、退学者数の内数を記入してください。
- ・留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格(いわゆる「留学ビザ」)により、我が国の大学(大学院を含む。)、短期大学、高等専門学校、専修学校(専門課程)及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記入してください。
- ・短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。
- ・「入学者数に対する退学者数の割合」は、【当該対象年度の入学者のうち、平成27年5月1日現在までに退学した学生数の合計】を、【当該対象年度の入学者数】で除した割合(%)を記入してください。その際、小数点以下第2位を四捨五入し、小数点以下第1位までを記入してください。
- ・「主な退学理由」は、下の項目を参考に記入してください。その際、「就学意欲の低下(○人)」というように、その人数も含めて記入してください。  
(記入項目例)・就学意欲の低下 ・学力不足 ・他の教育機関への入学・転学 ・海外留学  
・就職 ・学生個人の心身に関する事情 ・家庭の事情 ・除籍 ・その他

## 2 授業科目の概要

<経済学部 経営学科>

### (1) 授業科目表

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					備考		
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手			
基礎科目	文章表現	1前	2								兼1		
	口頭表現	1後	2								兼1		
	基礎数学	1前	2								兼1		
	入門経済学	1前後	2								兼11 兼12	講座内容の変更により、教員を1名追加(25) 担当 兼担教授の退職による減(27) 講座内容の変更により、当初計画より、教員を1名追加(25) 追加担当 土井修教授(兼担)	
	入門経営学	1前後	2			5	3	2				専任教員採用により、担当者変更(27) 担当 栗屋仁美(准教授) 担当 前野高章(専任講師) 平成26年9月16日 教員審査済 金珍淑講師、准教授に昇格(27) 平成26年12月2日 教員審査済 判定 可 高木准教授、教授に昇格(26) 平成26年1月21日 教員審査済 判定 可 専任教員採用により、担当者追加(26) 担当 藪内正樹(教授) 平成26年9月17日 教員審査済 判定 可 担当 高岡英氣(准教授) 平成26年9月17日 教員審査済 判定 可 藤田教授、畢教授辞任(2名)により、担当者変更 既存教員内で対応(25)	
	キャリアプランニング	1前	2			5	4	2	2			兼1	
	健康科学	1前後	2			*	1					兼1	専任教員採用により、担当者変更(26) 担当 高岡英氣(准教授) 平成26年9月17日 教員審査済 判定 可 藤田教授辞任により、担当者変更(25) 担当 福川裕司(兼任講師) 平成25年3月12日 教員審査済 判定 可
	情報基礎 I	1前	1			4						兼4	
	情報基礎 II	1後	1									兼3	
	小計(9科目)			16			5 7 5 7	3 4 4 7	2 2 2 4			兼16 兼15 兼16	
言語科目	英語 I	1前	1								兼5 兼4	講師の担当コマ数事情により、教員を追加(26) 担当 芳賀 理彦(講師・兼担)	
	英語 II	1後	1								兼5 兼4	講師の担当コマ数事情により、教員を追加(26) 担当 芳賀 理彦(講師・兼担)	
	英語 III	2前	1								兼4 兼3	講師の担当コマ数事情により、教員を追加(26) 担当 芳賀 理彦(講師・兼担)	
	英語 IV	2後	1								兼4 兼3	講師の担当コマ数事情により、教員を追加(26) 担当 芳賀 理彦(講師・兼担)	
	小計(4科目)			4			0	0	0		兼5 兼4		
	中国語 I	1前		1			1	4				兼1	矢澤准教授、教授に昇格(27) 平成26年12月2日 教員審査済 判定 可 担当教員の変更(黄講師から山影講師へ)(25) 担当 山影統(兼任講師) 教員資格審査 対象済者
	中国語 II	1後		1			1	4				兼1	矢澤准教授、教授に昇格(27) 平成26年12月2日 教員審査済 判定 可 担当教員の変更(黄講師から山影講師へ)(25) 担当 山影統(兼任講師) 教員資格審査 対象済者
中国語 III	2前		1			1	4				兼1	矢澤准教授、教授に昇格(27) 平成26年12月2日 教員審査済 判定 可 担当教員の変更(山影講師から黄講師へ)(27)	
												矢澤准教授、教授に昇格(27) 平成26年12月2日 教員審査済 判定 可	

	中国語Ⅳ	2後		1		1	±				兼1	担当教員の変更(山影講師から黄講師へ)(27)	
	日本語Ⅰ	1前		1							兼1 兼2	銅直講師辞任により、担当教員の変更(27) 沢野講師辞任により、担当教員の変更(27) 高柳講師を再任用、担当教員の変更(27) 高柳講師辞任により、担当教員の変更(25)	
	日本語Ⅱ	1後		1							兼1 兼2	銅直講師辞任により、担当教員の変更(27) 沢野講師辞任により、担当教員の変更(27) 高柳講師を再任用、担当教員数の変更(27) 高柳講師辞任により、担当教員の変更(25)	
	日本語Ⅲ	2前		1							兼1 兼2	銅直講師辞任により、担当教員の変更(27) 沢野講師辞任により、担当教員の変更(27) 高柳講師を再任用、担当教員の変更(27) 高柳講師辞任により、担当教員の変更(25)	
	日本語Ⅳ	2後		1							兼1 兼2	銅直講師辞任により、担当教員の変更(27) 沢野講師辞任により、担当教員の変更(27) 高柳講師を再任用、担当教員の変更(27) 高柳講師辞任により、担当教員の変更(25)	
	小計(8科目)			8		1	0 ±	0			兼3 兼4		
教養科目	敬天愛人講座 敬愛プログラム	1・2・3・4前後 1・2・3・4		2 2							兼10 兼9 兼11	担当教員の変更(家近教授・兼担)国内留学に伴う変更(27) 担当 覚正教授(兼担)、榎田教授(兼担)(27) 前年度の履修者数に応じたコマ増(26) 1人あたりの担当授業回数増により、担当者数減(26) 講座担当者の変更により、教員を追加(25)	
	スポーツ教育Ⅰ	1・2・3・4前		1		±					兼1	藤田教授辞任により、担当者変更(25) 担当 福川裕司(兼任講師) 平成25年3月12日 教員審査済 判定 可	
	スポーツ教育Ⅱ	1・2・3・4後		1		±					兼1	藤田教授辞任により、担当者変更(25) 担当 福川裕司(兼任講師) 平成25年3月12日 教員審査済 判定 可	
	哲学 心理学	1・2・3・4前 1・2・3・4前		2 2		1					兼1		
	社会心理学	1・2・3・4後		2		±						担当者のコマ数調整による休講措置(27) 担当 藤井教授の学部長就任による	
	歴史学 法学	1・2・3・4前後 1・2・3・4後		2 2							兼1 兼1	前年度の履修者数に応じたコマ増(26)	
	憲法Ⅰ	1・2・3・4前		2							兼1	前年度の履修者数に応じたコマ増(26) 山内講師辞任により、担当者変更(25) 担当 覚正豊和教授(兼担) 山内講師辞任により、担当者変更(25) 担当 覚正豊和教授(兼担)	
	憲法Ⅱ 政治学 日本の政治 社会学 数学Ⅰ 数学Ⅱ 統計学Ⅰ 統計学Ⅱ 環境科学 総合科目Ⅰ「国際社会を知る」	1・2・3・4後 1・2・3・4後 1・2・3・4前 1・2・3・4前 1・2・3・4前 1・2・3・4後 1・2・3・4前 1・2・3・4後 1・2・3・4後 1・2・3・4前		2 2 2 2 2 2 2 2 2 2							兼1 兼1 兼1 兼1 兼1 兼1 兼1 兼1 兼3		
	総合科目Ⅱ「国際社会を知る」 地域ボランティア活動	1・2・3・4後 1・2・3・4後		2 2							兼3 兼1	総合科目ⅠからⅡへ担当者変更(25) 総合科目ⅡからⅠへ担当者変更(25) 総合科目Ⅱ 異講師辞任により、担当者変更(25) 担当 吉村貴之(兼任講師) 平成24年10月16日 教員審査済 判定 可	
	小計(22科目)			42		1 1 ±	0 0	0				兼26 兼23 兼26	
	情報科目	情報概論	1・2・3・4後		2							兼1	
		アルゴリズム論	未開講 2・3・4前		2		±					兼1	通常開講(27) 担当者コマ数調整による変更(27) 担当 高橋和子教授(兼担) 履修希望者がいなかったため(26)
		Excelデータ解析	2・3・4前		2		1					兼1	専任教員が担当(26) 担当 森島隆晴(教授) 担当者変更(25) 担当 井手雅哉(兼任講師)
		プログラミング入門(VB)	2・3・4前		2							兼1	担当者のコマ数調整による休講措置(27) 担当 小林教授(兼担)
		VBプログラミング	2・3・4後		2							兼1	担当者のコマ数調整による休講措置(27) 担当 小林教授(兼担)
		データベースオペレーション プレゼンテーション論	2・3・4後 2・3・4前		2 2							兼1 兼1	
			2・3・4後									兼1	授業開講期の変更(前期から後期へ)(27) 担当者コマ数調整による変更(27)



基本 科目 B	産業論Ⅰ	2・3前		2		+					平成26年9月16日 教員審査済	
	産業論Ⅱ	2・3後		2		+		1			森谷教授定年退職より担当者変更(27) 担当 前野高章(専任講師) 平成26年9月16日 教員審査済	
	マーケティング論	2・3前		2		+			1		金珍淑講師、准教授に昇格(27) 平成26年12月2日 教員審査済 畢教授辞任に伴い、金講師に変更(25)	
	Marketing Management	2・3後		2		+			1		金珍淑講師、准教授に昇格(27) 平成26年12月2日 教員審査済 畢教授辞任に伴い、金講師に変更(25)	
	経営史Ⅰ	2・3前		2						兼1	白井講師辞任により、担当者変更(26) 担当 坂本旬(兼任講師) 平成25年12月10日 教員審査済 判定 可	
	経営史Ⅱ	2・3後		2						兼1	白井講師辞任により、担当者変更(26) 担当 坂本旬(兼任講師) 平成25年12月10日 教員審査済 判定 可	
	経営戦略論Ⅰ	2・3前		2				1			兼+	岸本兼任講師退職に伴う担当者変更(27) 専任教員採用により、担当者変更 担当 栗屋仁美(准教授)(27) 平成26年9月16日 教員審査済 岸本准教授辞任し、兼務講師として担当(26)
	経営戦略論Ⅱ	2・3後		2				1			兼+	岸本兼任講師退職に伴う担当者変更(27) 専任教員採用により、担当者変更 担当 栗屋仁美(准教授)(27) 平成26年9月16日 教員審査済 岸本准教授辞任し、兼任講師として担当(26)
	ベンチャービジネス論	2・3後		2							兼1	
	流通論	2・3前		2			+		1			金珍淑講師、准教授に昇格(27) 平成26年12月2日 教員審査済 畢教授辞任に伴い、金講師に変更(25)
	経営組織論Ⅰ	2・3前		2			1		+			高木准教授、教授に昇格(26) 平成26年1月21日 教員審査済 判定 可
	経営組織論Ⅱ	2・3後		2			1		+			高木准教授、教授に昇格(26) 平成26年1月21日 教員審査済 判定 可
	経営分析Ⅰ	2・3前		2					1			
	経営分析Ⅱ	2・3後		2					1			
	原価計算論Ⅰ	2・3前		2							兼1	
	原価計算論Ⅱ	2・3後		2							兼1	
	経営財務論	2・3前		2							兼1	
	マーケティング・リサーチⅠ	2・3前		2			1		+			担当者変更 森島隆晴(教授)(27) 担当者変更 藪内正樹(教授)(26)
	マーケティング・リサーチⅡ	2・3後		2			1		+			担当者変更 藪内正樹(教授)(26)
	人的資源管理Ⅰ	2・3前		2			1		+			高木准教授、教授に昇格(26) 平成26年1月21日 教員審査済 判定 可
	人的資源管理Ⅱ	2・3後		2			1		+			高木准教授、教授に昇格(26) 平成26年1月21日 教員審査済 判定 可
	管理会計論	2・3前		2						+		兼1 担当者変更 齋藤毅兼任講師(27) 平成27年1月27日 教員審査済 判定 可
小計(22科目)			44			3 3 +	2 0 2	2 2			兼5 兼5 兼4	
コ ー ス 科 目	アジアビジネス実習	3前 未開講 3前	2			1 3			+	+		通常開講(27) 担当 森島隆晴教授 (4名の実務経験者のサポート) 対象学年が該当しない為、開講せず(26) 対象学年が該当しない為、開講せず(25)
	アジアビジネス論	2・3・4前	2							+		金珍淑講師、准教授に昇格(27) 平成26年12月2日 教員審査済
	中国ビジネス論	2・3・4前	2			1					兼1	専任教員採用により、担当者変更(26) 担当 藪内正樹(教授) 平成26年9月17日 教員審査済 判定 可 畢教授辞任に伴い、兼任教員として担当(25)
	経営立地論	2・3・4前	2			1						
	アジアの工業立地	2・3・4後	2			1						
流通経営論	2・3・4前 未開講	2						+			通常開講(26) 専任教員採用により、担当者変更(26) 担当 藪内正樹(教授) 平成26年9月17日 教員審査済 判定 可 畢教授辞任に伴い、開講せず(25)	

				1						専任教員採用により、担当者変更(26) 担当 敷内正樹(教授) 平成26年9月17日 教員審査済 判定 可 兼1 畢教授辞任に伴い、兼任教員として担当(25)
中国の流通産業	2・3・4後		2	4						兼1
情報マネジメント	2・3・4前		2	1						
国際経営論	2・3・4前		2							兼1
国際貿易論	2・3・4後 未開講 2・3・4前		2							兼1
国際法 I	2・3・4後		2							兼1
国際法 II	2・3・4前		2							兼1
アジアの地理	2・3・4前		2	1						
アジアの歴史と社会	2・3・4前 2・3・4前		2							兼1
中国語検定講座 I	2・3・4前 未開講 2・3・4		1	1	4					
中国語検定講座 II	2・3・4後		1	1	4					
日本語検定講座 I	2・3・4前 未開講		1							兼1
日本語検定講座 II	2・3・4		1							兼1
小計(18科目)		2	30	4 3 2 3	1	0				兼5
地域企業経営実習	3前 未開講 3前	2		1	2	4				
地域企業経営論	2・3・4前		2							兼5
会計学 I	2・3・4前		2	4			1			
会計学 II	2・3・4後		2	4			1			
税務会計論 I	2・3・4前		2	4						兼1 兼1
税務会計論 II	2・3・4後		2	4						兼1 兼1
中小企業論 I	2・3・4前		2		1					兼1
中小企業論 II	2・3・4後		2		1					兼1
企業法	2・3・4後		2	1						
会社法	2・3・4後		2	1						
経営立地論	2・3・4前		2	1						
地域産業論	2・3・4後		2	1						
企業経営と心理学	2・3・4前		2	1						
観光事業論 I	2・3・4前		2							兼1
観光事業論 II	2・3・4後		2							兼1
サービス産業論	2・3・4前		2		1					
地域企業会計論	2・3・4前		2							兼1
民法 I	2・3・4前		2							兼1
民法 II	2・3・4後		2							兼1
小計(19科目)		2	36	4 5 4	2 4	1 2				兼9 兼10 兼8

		3前				1												通常開講(27) 担当 森島隆晴教授 (4名の実務経験者のサポート) 対象学年が該当しない為、開講せず(26) 対象学年が該当しない為、開講せず(25)	
	スポーツビジネス実習	未開講 3前	2			2	4												
	スポーツ科学概論	2・3・4前 未開講 2・3・4前		2		4						兼1						通常開講(26) 担当 福川裕司(兼任講師) 教員資格審査対象者 藤田教授辞任に伴い、開講せず(25)	
	生涯スポーツ実習 I	2・3・4前 未開講 2・3・4前		2		4				1								専任教員採用により、担当者変更(26) 担当 高岡英氣(准教授) 平成26年9月17日 教員審査済 判定 可 藤田教授辞任に伴い、開講せず(25)	
	生涯スポーツ実習 II	2・3・4前 未開講 2・3・4前		2		4				1								専任教員採用により、担当者変更(26) 担当 高岡英氣(准教授) 平成26年9月17日 教員審査済 判定 可 藤田教授辞任に伴い、開講せず(25)	
	スポーツビジネス論	2・3・4後		2						1			兼1					専任教員採用により、担当者変更(26) 担当 高岡英氣(准教授) 平成26年9月17日 教員審査済 判定 可	
	スポーツ産業論	2・3・4前		2						1			兼1					専任教員採用により、担当者変更(26) 担当 高岡英氣(准教授) 平成26年9月17日 教員審査済 判定 可	
	中小企業論 I	2・3・4前		2						1			兼1					岸本兼任講師辞任に伴う担当者変更(27) 専任教員採用により、担当者変更(27) 担当 栗屋仁美(准教授) 平成26年9月16日 教員審査済 岸本講師辞任し、兼任講師として担当(26)	
	中小企業論 II	2・3・4後		2						1			兼1					岸本兼任講師辞任に伴う担当者変更(27) 専任教員採用により、担当者変更(27) 担当 栗屋仁美(准教授) 平成26年9月16日 教員審査済 岸本講師辞任し、兼任講師として担当(26)	
	企業経営と心理学	2・3・4前		2		1													
	民法 I	2・3・4前		2									兼1						
	民法 II	2・3・4後		2									兼1						
	企業法	2・3・4前		2		1													
	会社法	2・3・4前後 2・3・4後		2		1												前年度の履修者数に応じたコマ増(26)	
	小計(13科目)		2	24		3 2 3	2 4					兼2							
展 開 科 目	経済政策 I	2・3・4前		2									兼2 兼1					前年度の履修者数に応じたコマ増(27)	
	経済政策 II	2・3・4後		2									兼2 兼1					前年度の履修者数に応じたコマ増(27)	
	ミクロ経済学 I	2・3・4後 2・3・4前		2									兼1					担当者の26年後期から27年前期までの海外 留学に伴う授業学期の変更(27) 担当者変更(和田良子教授・兼任)(25)	
	ミクロ経済学 II	2・3・4後 2・3・4前		2									兼1					担当者の26年後期から27年前期までの海外 留学に伴う授業学期の変更(27) 担当者変更(和田良子教授・兼任)(25)	
	マクロ経済学 I	2・3・4前		2									兼1					担当者変更(仁平耕一教授・兼任)(25)	
	マクロ経済学 II	2・3・4後		2									兼1					担当者変更(仁平耕一教授・兼任)(25)	
	統計学総論 I	2・3・4前		2									兼1						
	統計学総論 II	2・3・4後		2									兼1						
	経済統計 I	2・3・4前		2									兼1						
	経済統計 II	2・3・4後		2									兼1						
	日本経済論 I	2・3・4前		2									兼1						
	日本経済論 II	2・3・4後		2									兼1						
	流通情報論	2・3・4前		2					1										金珍淑講師、准教授に昇格(27) 平成26年12月2日 教員審査済
	企業金融論 I	2・3・4前		2									兼1						
	企業金融論 II	2・3・4後		2									兼1						
	知的財産権論	2・3・4前		2			1												
企業と産業組織 I	2・3・4前		2			4												森谷教授定年退職より担当者変更(27) 担当 前野高章(専任講師) 平成26年9月16日 教員審査済	
企業と産業組織 II	2・3・4後		2			4												森谷教授定年退職より担当者変更(27) 担当 前野高章(専任講師) 平成26年9月16日 教員審査済	
消費者行動論	2・3・4前		2			1													
労働法	2・3・4前		2										兼1						
有価証券法	2・3・4前		2			1													
										1								専任教員採用により、担当者変更(27) 担当 前野高章(専任講師) 平成26年9月16日 教員審査済	



記入してください。（記入例：1科目減の場合： 1）

- ・ 資格に関する課程など、別課程としている授業科目については算入する必要はありません。

(3) 未開講科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由，代替措置の有無
1	該当なし					
2						
3						

- (注)・ 設置時の計画にあった授業科目が配当年次に達しているにも関わらず，何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお，理由については可能な限り具体的に記入してください。
- ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目については，記入しないでください。
  - ・ 教職大学院の場合は，「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。

(4) 廃止科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由，代替措置の有無
1	該当なし					
2						
3						

- (注)・ 設置時の計画にあり，何らかの理由で廃止（教育課程から削除）した授業科目について記入してください。なお，理由については可能な限り具体的に記入してください。
- ・ 教職大学院の場合は，「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。

(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

該当なし
------

- (注)・ 授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を記入してください。

(6) 「設置時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

$$\frac{\text{未開講科目と廃止科目の計}}{\text{設置時の計画の授業科目数の計}} = \boxed{\phantom{0.00}}$$

- (注)・ 小数点以下第3位を切り捨て，小数点以下第2位までを記入してください。

### 3 施設・設備の整備状況、経費

区 分		内 容				備考			
(1) 校 地 等	区 分	専 用	共 用	共用する他の 学校等の専用	計	共有する他の学校の校地 短大 12,109㎡ 高校 34,669㎡ 校舎校地 13,827㎡ 運動場 20,842㎡			
	校 舎 敷 地	5,630 ㎡	16,208 ㎡	5,725 ㎡	27,563 ㎡				
	運 動 場 用 地	0 ㎡	71,981 ㎡	0 ㎡	71,981 ㎡				
	小 計	5,630 ㎡	88,189 ㎡	5,725 ㎡	99,544 ㎡				
	そ の 他	0 ㎡	0 ㎡	0 ㎡	0 ㎡				
	合 計	5,630 ㎡	88,189 ㎡	5,725 ㎡	99,544 ㎡				
(2) 校 舎	専 用	共 用	共用する他の 学校等の専用	計					
	21,555㎡ (21,555㎡)	852㎡ (852㎡)	10,642㎡ (10,642㎡)	33,049㎡ (33,049㎡)					
(3) 教 室 等	講 義 室	演 習 室	実験実習室	情報処理学習施設	語学学習施設	情報処理実習室を改修し、演習室に用途変更を実施した(26)			
	22室	13室 12室	4室	7室 6室 (補助職員 人)	2室 (補助職員 人)				
(4) 専任教員研究室	新設学部等の名称		室 数						
	経済学部 経営学科		11	42		室			
(5) 図 書 ・ 設 備	新設学部等の名称	図 書 〔うち外国書〕 冊	学術雑誌 〔うち外国書〕 種	電子ジャーナル 〔うち外国書〕	視聴覚資料 点	機械・器具 点	標 本 点	外国書雑誌はデータベースで代用のため購入中止(26)  貸出用P C購入の為(27)	
	経済学部	12,505〔982〕 <del>(9,935〔454〕)</del> (10,661〔459〕)	23〔7〕 (23〔4〕)	19〔2〕 (19〔2〕)	1,739 <del>(2,881)</del> (2,135)	300 <del>(290)</del> (300)	( ) ( )		
	計	12,505〔982〕 <del>(9,935〔454〕)</del> (10,661〔459〕)	23〔7〕 (23〔4〕)	19〔2〕 (19〔2〕)	1,739 <del>(2,881)</del> (2,135)	300 <del>(290)</del> (300)	( ) ( )		
(6) 図 書 館	面 積		閲 覧 座 席 数		収 納 可 能 冊 数		閲覧室改修に伴う座席数増(25)  書庫面積変更、閲覧室改修による蔵書数増(26)		
	2,351.8㎡		366 →383		250,000				
(7) 体 育 館	面 積		体育館以外のスポーツ施設の概要						
	㎡								
(8) 経費の見積り及び維持方法の概要	経費の見積り	区 分	開設年度	完成年度	区 分	開設前年度	開設年度	完成年度	共同研究費増2,780千円(26)
		教員1人当り研究費等	250千円	250千円	図書購入費	2,500千円	2,500千円	10,000千円	
	共同研究費等	2,000千円	8,000千円 8,780千円	設備購入費	500千円	1,025千円	2,525千円		
	学生1人当り納付金	第1年次	第2年次	第3年次	第4年次	第5年次	第6年次		
	1,270千円	980千円	980千円	980千円	千円	千円			
学生納付金以外の維持方法の概要		私立大学等経常費補助金、寄付金等							

(注)・ 設置時の計画を、申請書の様式第2号(その1の1)に準じて作成してください。(複数のキャンパスに分かれている場合、複数の様式に分ける必要はありません。なお、「(1)校地等」及び「(2)校舎」は大学全体の数字を、その他の

項目はA C対象学部等の数値を記入してください。)

- ・ 運動場用地が校舎敷地と別地にある場合は、その旨(所要時間・距離等)を「備考」に記入してください。
- ・ 「(5)図書・設備」については、上段に完成年度の予定数値を、下段には平成27年5月1日現在の数値を記入してください。
- ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更のあったものについては、変更部分を赤字で見え消し修正するとともに、その理由及び報告年度「(27)」を「備考」に赤字で記入してください。  
なお、昨年度の報告において赤字で見え消した部分については、見え消のまま黒字にしてください。
- ・ 校舎等建物の計画の変更(校舎又は体育館の総面積の減少、建築計画の遅延)がある場合には、「建築等設置計画変更書」を併せて提出してください。

#### 4 既設大学等の状況

大学の名称		敬愛大学							備考
既設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	平均入学定員超過率	開年度	所在地	学則改正 25年4月設置 (24.6設置届出)  経済学科、経営学科の 学科選択は2年次進級 時とするため学部合計 での定員超過率で計算 (25)
経済学部 経済学科	4年	115人	2年次 3人	624人	学士 (経済学)	0.91倍	昭和41年	千葉市稲毛区穴川 1丁目5番21号	
経済学部 経営学科	4年	110人	2年次 3人 3年次 3人	339人	学士 (経営学)		平成25年		
国際学部 国際学科	4年	90人	2年次 6人 3年次 10人	419人	学士 (国際学)	0.84倍	平成19年	千葉市稲毛区穴川 1丁目5番21号	
国際学部こども学科	4年	70人	3年次 2人	284人	学士 (こども学)	1.01倍	平成23年		
大学の名称	千葉敬愛短期大学							備考	
既設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	平均入学定員超過率	開年度	所在地	平成26年度より 学生募集停止  学則改正 26年4月学科名称 変更 (25年4月設置届出)
初等教育科	2年	人	年次 人	人		倍	昭和25年	千葉県佐倉市 山王1丁目9番地	
現代子ども学科	2	200		400	短期大学士 (教育学)	0.98	平成26年		

(注)・本調査の対象となっている大学等の設置者(学校法人等)が設置している全ての大学(学部,学科),大学院(専攻)及び短期大学(学科)(AC対象学部等含む)について,それぞれの学校種ごとに,平成27年5月1日現在の上記項目の情報を記入してください。

- ・学部の学科または研究科の専攻等，「入学定員を定めている組織」ごとに記入してください。  
「入学定員を定めている組織ごと」には，課程認定等によりコース・専攻に入学定員を定めている場合を含めます。履修上の区分としてコース・専攻を設けている場合は含めません。  
なお，課程認定等によりコースや専攻に入学定員を定めている場合は，法令上規定されている組織上の最小単位（大学であれば「学科」，短期大学であれば「専攻課程」）でも記載してください。
- ・専攻科に係るものについては，記入する必要はありません。
- ・AC対象学部等についても必ず記入してください。
- ・「平均入学定員超過率」には，標準修業年限に相当する期間における入学定員に対する入学者の割合の平均の小数点以下第2位まで（小数点以下第3位を切り捨て）を記入してください。
- ・学生募集を停止している学部等がある場合，入学定員・収容定員・平均入学定員超過率は「-」とし，「備考」に「平成 年より学生募集停止」と記入してください。

5 教員組織の状況

<経済学部 経営学科>

(1) 担当教員表

設置時の計画				変更状況				備考		
専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月			
専	教授	ノグチ アキヒロ 野口 明宏 (67)	平成25年4月	企業法 会社法 有価証券法 地域企業経営実習 入門経営学 基礎演習 基礎演習 専門導入演習 専門導入演習 専門演習 専門演習 卒業演習 卒業演習 卒業論文	専	教授	ノグチ アキヒロ 野口 明宏 (69)	平成25年4月	企業法 会社法 有価証券法 地域企業経営実習 入門経営学 基礎演習 基礎演習 専門導入演習 専門導入演習 専門演習 専門演習 卒業演習 卒業演習 卒業論文	地域企業経営実習は、3年生以上が対象科目のため、未開講(25)  地域企業経営実習は、3年生以上が対象科目のため、未開講(26)  入門経営学は、経営学科専任教員によるオムニバス方式としている関係で27年度は講義担当から除外。(27)
					専	教授	モリシ タカハル 森島 隆晴 (55)	平成25年4月	地域企業経営実習	担当者変更(27)
専	教授	モリヤ ヒデキ 森谷 英樹 (69)	平成25年4月	産業論 産業論 企業と産業組織 企業と産業組織 地域企業経営実習 入門経営学 基礎演習 基礎演習 専門導入演習 専門導入演習 専門演習 専門演習 卒業演習 卒業演習 卒業論文	専	教授	モリヤ ヒデキ 森谷 英樹 (71)	平成25年4月	産業論 産業論 企業と産業組織 企業と産業組織 地域企業経営実習 入門経営学 基礎演習 基礎演習 専門導入演習 専門導入演習 専門演習 専門演習 卒業演習 卒業演習 卒業論文	地域企業経営実習は、3年生以上が対象科目のため、未開講(25)  地域企業経営実習は、3年生以上が対象科目のため、未開講(26)  担当コマ数の事情により、「基礎演習・」 「専門導入演習・」 は他の専任教員による代替措置をとった(26)  森谷英樹教授定年退職(27)
					専	教授	モリシ タカハル 森島 隆晴 (55)	平成25年4月	地域企業経営実習	担当者変更(27)
					兼任	講師	モリヤ ヒデキ 森谷 英樹 (71)	平成27年4月	卒業演習 卒業演習 卒業論文	兼任講師として任用(27)
					専	講師	マエノ タカアキ 前野 高章 (36)	平成27年4月	産業論 産業論 企業と産業組織 企業と産業組織 入門経営学 外国経営書講読 外国経営書講読 基礎演習 基礎演習 専門導入演習 専門導入演習	森谷英樹教授定年退職のため 専任教員採用により、担当者変更(27) 担当 前野高章(専任講師) 平成26年9月16日 教員審査済
専	教授	アオキ ヒデカズ 青木 英一 (70)	平成25年4月	アジアの地理 地域産業論 経営立地論 アジアの工業立地 日本経済地理 世界経済地理 アジアビジネス実習 入門経営学 専門導入演習 専門導入演習 専門演習 専門演習 卒業演習 卒業演習 卒業論文	専	教授	アオキ ヒデカズ 青木 英一 (72)	平成25年4月	アジアの地理 地域産業論 経営立地論 アジアの工業立地 日本経済地理 世界経済地理 アジアビジネス実習 入門経営学 専門導入演習 専門導入演習 専門演習 専門演習 卒業演習 卒業演習 卒業論文	アジアビジネス実習は、3年生以上が対象科目のため、未開講(25)  アジアビジネス実習は、3年生以上が対象科目のため、未開講(26)  担当コマ数の事情により、「専門導入演習・」 は他の専任教員による代替措置をとった(26)  担当者変更(27) アジアビジネス実習は、インターンシップ科目であり、科目の特性上実務経験者4名のサポートのうえ実施する事とした。(27)
					専	教授	モリシ タカハル 森島 隆晴 (55)	平成25年4月	アジアビジネス実習	担当者変更(27)

専	教授	フジタ アキオ 藤田 明男 (65)	平成25年4月	生涯スポーツ実習 生涯スポーツ実習 健康科学 スポーツ科学概論 スポーツビジネス実習 スポーツ教育 スポーツ教育 入門経営学 基礎演習 基礎演習 専門導入演習 専門導入演習 専門演習 専門演習 卒業演習 卒業演習 卒業論文	後任未定				平成25年3月 藤田明男教授辞任(一身上の都合)のため「後任未定」。平成25年4月から専任教員を公募し、平成26年4月付採用。「生涯スポーツ実習・」 「スポーツ科学概論」は2年生以上が対象のため、また、卒業演習・、卒業論文は対象学生が不該当の為、未開講。入門経営学、基礎演習・、専門導入演習・、専門演習・は他の専任教員による代替措置をとった(25)。  スポーツビジネス実習は、3年生以上が対象科目のため、未開講(25)  平成26年4月 高岡英氣准教授採用のため、「生涯スポーツ・」、「スポーツビジネス実習」、「入門経営学」、「基礎演習・」、「専門導入演習・」は担当者の変更。また、「専門演習・」、「卒業演習・」、「卒業論文」は他の専任教員による代替措置をとった(26)					
									兼任	講師	フクカワ ユウジ 福川 裕司 (38)	平成25年4月	健康科学 スポーツ教育 スポーツ教育	平成25年3月 藤田明男教授辞任のため、1年生が履修対象である「健康科学」、「スポーツ教育」を平成25年度は兼任講師により担当を変更した(25)。  「健康科学」は平成26年4月高岡准教授就任のため、担当者の変更(26)  「スポーツ科学概論」は経年で履修対象学年に到達。担当者の変更(26)
									専	准教授	タカオカ ヒデキ 高岡 英氣 (37)	平成26年4月	生涯スポーツ実習 生涯スポーツ実習 健康科学 スポーツビジネス実習 入門経営学 基礎演習 基礎演習 専門導入演習 専門導入演習	平成26年9月17日 教員審査済  担当者変更(27) スポーツビジネス実習は、インターンシップ科目であり、科目の特性上実務経験者4名のサポートのうえ実施する事とした。(27)
専	教授	モリシ タカハル 森島 隆晴 (55)	平成25年4月	スポーツビジネス実習	担当者変更(27)									
専	教授	フジイ テルオ 藤井 輝男 (59)	平成25年4月	心理学 社会心理学 企業経営と心理学 消費者行動論 発達心理学(教職科目) 教育心理学(教職科目) 教育相談(教職科目) スポーツビジネス実習 入門経営学 専門導入演習 専門導入演習 専門演習 専門演習 卒業演習 卒業演習 卒業論文	専	教授	フジイ テルオ 藤井 輝男 (60)	平成25年4月	心理学 社会心理学 企業経営と心理学 消費者行動論 発達心理学(教職科目) 教育心理学(教職科目) 教育相談(教職科目) スポーツビジネス実習 入門経営学 専門導入演習 専門導入演習 基礎演習 基礎演習 専門演習 専門演習 卒業演習 卒業演習 卒業論文	「発達心理学」、「教育相談」は担当コマ数の事情により、担当者変更(26)  スポーツビジネス実習は、3年生以上が対象科目のため、未開講(25)  スポーツビジネス実習は、3年生以上が対象科目のため、未開講(26)  専門演習・、卒業演習・、卒業論文は、対象学生が不該当のため、「基礎演習・」を担当(25)  卒業演習・、卒業論文は、対象学生が不該当のため、「専門演習・」を担当(26)  入門経済学は、経営学科専任教員によるオムニバス方式としている関係で27年度は講義担当から除外。(27) 担当者変更(27) スポーツビジネス実習は、インターンシップ科目であり、科目の特性上実務経験者4名のサポートのうえ実施する事とした。(27)				
									専	教授	モリシ タカハル 森島 隆晴 (55)	平成25年4月	スポーツビジネス実習	担当者変更(27)

専	教授	ビイトウトウ 畢 滔滔 (松井タオタオ) (42)	平成25年4月	流通論 中国ビジネス論 マーケティング論 Marketing Management 流通経営論 中国の流通産業 アジアビジネス実習 入門経営学 専門導入演習 専門導入演習 専門演習 専門演習 卒業演習 卒業演習 卒業論文	後任未定			平成25年3月 畢 滔滔教授辞任(一身上の都合)のため「後任未定」。平成25年4月から専任教員を公募し、平成26年4月付採用。「Marketing Management」「マーケティング論」「流通論」は金講師(専)が担当し、「流通経営論」(新規科目)は2年生以上が対象のため、未開講。入門経営学、専門導入演習・、専門演習・は他の専任教員による代替措置をとった(25)。  アジアビジネス実習は、3年生以上が対象科目のため、未開講(26)  平成26年4月 敷内正樹教授採用のため、「中国ビジネス論」「中国の流通産業」「流通経営論」「アジアビジネス実習」「入門経営学」「専門導入演習」は担当者の変更。また、「専門演習」「卒業演習」は「卒業論文」は他の専任教員による代替措置をとった(26)。					
				専				准教授 講師	キム ジンシク 金 珍淑 (42)	平成25年4月	マーケティング論 Marketing Management 流通論	准教授に昇格(27) 平成26年12月2日 教員審査済	
				兼任				講師	ゼイトウトウ 畢 滔滔 (松井タオタオ) (43)	平成25年4月	中国ビジネス論 中国の流通産業 卒業演習— 卒業演習— 卒業論文	平成25年度は兼任教員として、講義を一部担当(25) 専任教員採用により、担当者変更(26)	
				専				教授	ヤブウチ マサキ 敷内 正樹 (61)	平成26年4月	中国ビジネス論 中国の流通産業 <del>マーケティングリサーチ</del> マーケティングリサーチ 流通経営論 <del>アジアビジネス実習</del> 外国経営書購読 入門経営学 基礎演習 基礎演習 専門導入演習 専門導入演習 卒業演習 卒業演習 卒業論文	平成26年9月17日 教員審査済 担当者変更(27) 担当 森島隆晴教授  担当者変更(27) アジアビジネス実習は、インターンシップ科目であり、科目の特性上実務経験者4名のサポートのうえ実施する事とした。(27)	
専	教授	モリシ タカハル 森島 隆晴 (55)	平成25年4月	アジアビジネス実習	担当者変更(27)								
専	教授	モリシ マタカハル 森島 隆晴 (53)	平成25年4月	Excelデータ解析	専	教授	モリシ マタカハル 森島 隆晴 (55)	平成25年4月	アルゴリズム論  情報セキュリティ論 情報マネジメント 知的財産権論 シミュレーション論 データベース論 アジアビジネス実習  入門経営学 専門演習 専門演習 卒業演習 卒業演習 卒業論文  Excelデータ解析 情報システム論  卒業演習 卒業演習 卒業論文  基礎演習 基礎演習  敬天愛人講座  マーケティングリサーチ アジアビジネス実習  地域企業経営実習 スポーツビジネス実習	担当者変更(27) 担当 高橋和子教授(兼任) 担当コマ数調整による減(27)  科目統合(OS論・ハードウェアシステム論・ネットワークシステム論、以上3科目を情報システム論へ)を、平成26年度に実施するため、「情報システム論」は2年生より履修対象。「Excelデータ解析」は、井手(兼任)講師が臨時的に担当。シミュレーション論、専門演習・は履修希望者がいないため、未開講(25)。  入門経営学は、経営学科専任教員によるオムニバス方式としている関係で27年度は講義担当から除外。(27)  担当コマ数調整による減(27)  「OS論」「ハードウェアシステム論」「ネットワークシステム論」以上3科目を統合し、「情報システム論」を開講(26)  担当コマ数調整による減(27) 担当 高橋和子教授(兼任)  「卒業演習・」「卒業論文」は不該当のため、「基礎演習・」を担当(26)  新規担当(オムニバス講義)(26)  新規担当(27) アジアビジネス実習は、3年生以上が対象科目のため、未開講(25)  新規担当(27) 新規担当(27)			
				兼任					教授	タカハシ カズコ 高橋 和子 (63)	平成25年4月	情報システム論 アルゴリズム論	新規担当(27) 新規担当(27)
				兼任					講師	イデ マサヤ 井手 雅哉 (47)	平成25年4月	Excelデータ解析	担当者変更(25) 専任教員の担当に変更(26)

専	准教授	ヤザワ ヒデアキ 矢澤 秀昭 (53)	平成25年4月	中国語 中国語 中国語 中国語 中国語検定講座 中国語検定講座 アジアビジネス実習	専	教授 准教授	ヤザワ ヒデアキ 矢澤 秀昭 (55)	平成25年4月	中国語 中国語 中国語 中国語 中国語検定講座 中国語検定講座  アジアビジネス実習	教授に昇格(27) 平成26年12月2日 教員審査済 アジアビジネス実習は、3年生以上 が対象科目のため、未開講(25)  アジアビジネス実習は、3年生以上 が対象科目のため、未開講(26)  担当者変更(27) アジアビジネス実習は、インターン シップ科目であり、科目の特性上実 務経験者4名のサポートのうえ実施 する事とした。(27)
					専	教授	モリシ タカハル 森島 隆晴 (55)	平成25年4月	アジアビジネス実習	担当者変更(27)
専	准教授	タカギ トモヨ 高木 朋代 (天野 朋代) (45)	平成25年4月	経営学 経営学 経営組織論 経営組織論 人的資源管理 人的資源管理 地域企業経営実習 入門経営学 専門導入演習 専門導入演習 専門演習 専門演習 卒業演習 卒業演習 卒業論文	専	教授	タカギ トモヨ 高木 朋代 (天野 朋代) (47)	平成25年4月	経営学 経営学 経営組織論 経営組織論 人的資源管理 人的資源管理 地域企業経営実習 入門経営学 専門導入演習 専門導入演習 専門演習 専門演習  専門演習 専門演習	平成26年4月教授昇格(26)  地域企業経営実習は、3年生以上 が対象科目のため、未開講(25)  地域企業経営実習は、3年生以上 が対象科目のため、未開講(26)  専門演習 ・、卒業演習 ・、 卒業論文は対象学生が不該当のた め、未開講(25)  卒業演習 ・、卒業論文は対象学 生が不該当のため、未開講(26)  担当者変更(27) 地域企業経営実習は、インターン シップ科目であり、科目の特性上実 務経験者4名のサポートのうえ実施 する事とした。(27)  担当コマ数調整による減(27)
					専	教授	モリシ タカハル 森島 隆晴 (55)	平成25年4月	地域企業経営実習	担当者変更(27)
専	准教授	キシモト タイチ 岸本 太一 (34)	平成25年4月	中小企業論 中小企業論 経営戦略論 経営戦略論 スポーツビジネス実習 入門経営学 基礎演習 基礎演習 専門導入演習 専門導入演習 専門演習 専門演習 卒業演習 卒業演習 卒業論文			後任未定			平成26年3月 岸本太一准教授辞任(一身上の都合) のため「後任未定」。平成26年4月 から専任教員を公募し、平成27年4 月付採用。「中小企業論 ・」 「経営戦略論 ・」 「卒業演習 ・」 「卒業論文」は兼任講師と して担当。「スポーツビジネス実 習」は3年生以上が対象のため、未 開講。「入門経営学」、「基礎演習 ・」 「専門導入演習 ・」、 「専門演習 ・」は他の専任教員 による代替措置をとった(26)。
					兼任	講師	キシモト タイチ 岸本 太一 (35)	平成25年4月	中小企業論 中小企業論 経営戦略論 経営戦略論 卒業演習 卒業演習 卒業論文	平成26年度は兼任教員として、講義 を一部担当(26)  岸本兼任講師辞任(27)
					専	准教授	アワヤ ヒトミ 栗屋 仁美 (47)	平成27年4月	中小企業論 中小企業論 経営戦略論 経営戦略論 経営学 経営学 基礎演習 基礎演習 専門導入演習 専門導入演習	岸本兼任講師辞任(27) 専任教員採用により、担当者変更(27) 担当 栗屋仁美(准教授) 平成26年9月16日 教員審査済

専	講師	キム ジンシク 金 珍淑 (40)	平成25年4月	流通論 サービス産業論 流通情報論 マーケティングリサーチ マーケティングリサーチ アジアビジネス論 アジアビジネス実習 入門経営学 基礎演習 基礎演習 専門導入演習 専門導入演習 専門演習 専門演習 卒業演習 卒業演習 卒業論文	専	講師	キム ジンシク 金 珍淑 (42)	平成25年4月	流通論 サービス産業論 流通情報論 マーケティングリサーチ マーケティングリサーチ アジアビジネス論 アジアビジネス実習 入門経営学 専門導入演習 専門導入演習 専門演習 専門演習 卒業演習 卒業演習 卒業論文	准教授に昇格(27) 平成26年12月2日 教員審査済  「マーケティングリサーチ」は平成26年度は専任教授に担当者変更(26)  アジアビジネス実習は、3年生以上を対象科目のため、未開講(25)  アジアビジネス実習は、3年生以上を対象科目のため、未開講(26)  基礎演習 ・、卒業演習 ・、卒業論文は対象学生が不該当のため、未開講(25) 基礎演習 ・、は他の専任教員による代替措置をとった(26)  担当者変更(27) アジアビジネス実習は、インターンシップ科目であり、科目の特性上実務経験者4名のサポートのうえ実施する事とした。(27)						
											専	教授	モリシ タカハル 森島 隆晴 (55)	平成25年4月	アジアビジネス実習	担当者変更(27)
専	講師	ヒラヤ ノブヒロ 平屋 伸洋 (31)	平成25年4月	会計学 会計学 簿記論 簿記論 経営分析 経営分析 管理会計論 地域企業経営実習 入門経営学 基礎演習 基礎演習 専門導入演習 専門導入演習 専門演習 専門演習	専	講師	ヒラヤ ノブヒロ 平屋 伸洋 (33)	平成25年4月	簿記論 簿記論 経営分析 経営分析 管理会計論 地域企業経営実習 入門経営学 基礎演習 基礎演習 専門導入演習 専門導入演習  進路支援講座— 進路支援講座—  会計学 会計学	地域企業経営実習は、3年生以上を対象科目のため、未開講(25)  地域企業経営実習は、3年生以上を対象科目のため、未開講(26)  進路支援講座 は他の専任教員が担当(26) 経済学科専用科目 進路支援講座 は他の専任教員が担当(27) 経済学科専用科目  担当者変更(27) 地域企業経営実習は、インターンシップ科目であり、科目の特性上実務経験者4名のサポートのうえ実施する事とした。(27)						
											専	教授	モリシ タカハル 森島 隆晴 (55)	平成25年4月	地域企業経営実習	担当者変更(27)
											専	教授	ススキ アキオ 鈴木 明男 (72)	平成26年4月	会計学— 会計学—	会計学 ・ は、鈴木教授(平成25年4月付就任)が、平成25年度のみ担当(25)  平成26年度は専任教員が担当(26) 平成26年3月 定年退職(26) 非常勤講師として採用
兼任	客員教授	タカハシ タカアキ 高橋 隆明 (58)	平成25年4月	地域企業会計論	兼任	客員教授	タカハシ タカアキ 高橋 隆明 (60)	平成25年4月	地域企業会計論							
兼任	講師	イシナベ ノブタカ 石鍋 信孝 (66)	平成25年4月	経営財務論	兼任	講師	イシナベ ノブタカ 石鍋 信孝 (68)	平成25年4月	経営財務論							
兼任	講師	イトウ タカコ 伊東 隆子 (64)	平成25年4月	英語 英語 英語 英語	兼任	講師	イトウ タカコ 伊東 隆子 (66)	平成25年4月	英語 英語 英語 英語							
兼任	講師	イナバ ヒロミチ 稲葉 弘道 (65)	平成25年4月	統計学総論 統計学総論 経済統計 経済統計	兼任	講師	イナバ ヒロミチ 稲葉 弘道 (67)	平成25年4月	統計学総論 統計学総論 経済統計 経済統計							
兼任	講師	ウチノ ヤスコ 内野 泰子 (60)	平成25年4月	英語 英語 英語 英語	兼任	講師	ウチノ ヤスコ 内野 泰子 (62)	平成25年4月	英語 英語 英語 英語							
兼任	講師	オクヤマ タカヤ 奥山 隆哉 (65)	平成25年4月	観光事業論 観光事業論	兼任	講師	オクヤマ タカヤ 奥山 隆哉 (66)	平成25年4月	観光事業論 観光事業論							

兼任	講師	カウニシ マサミ 川西 正己 (67)	平成25年4月	ベンチャービジネス論	兼任	講師	カウニシ マサミ 川西 正己 (69)	平成25年4月	ベンチャービジネス論	
兼任	講師	コウ レイカ 黄 麗華 (55)	平成25年4月	中国語 中国語 中国語	兼任	講師	コウ レイカ 黄 麗華 (57)	平成25年4月	中国語 中国語	
					兼任	講師	ヤマカゲ スバル 山影 統 (36)	平成25年4月	中国語 中国語	クラス数増加に伴い、担当教員の追加(25)
兼任	講師	サイキ カオリ 斉木 かおり (和田 薫) (49)	平成25年4月	実践会話 実践会話	兼任	講師	サイキ カオリ 斉木 かおり (和田 薫) (51)	平成25年4月	実践会話 実践会話	
兼任	講師	サワノ ミユキ 沢野 美由紀 (47)	平成25年4月	日本語 日本語 日本語 日本語 日本語検定講座 日本語検定講座	兼任	講師	サワノ ミユキ 沢野 美由紀 (48)	平成25年4月	日本語— 日本語— 日本語— 日本語— 日本語検定講座— 日本語検定講座—	沢野兼任講師辞任より担当者変更(27) 日本語検定講座は、受講希望者がいない為、未開講(25)。 「日本語検定講座・」は、担当コマ数の事情により担当者変更(26)
					兼任	講師	イイダ マキ 飯田 真己 (45)	平成26年4月	日本語検定講座 日本語検定講座	「日本語検定講座・」は、沢野講師の担当コマ数の事情により担当者変更(26)
					兼任	講師	タカヤナギ マリ 高柳 真理 (52)	平成27年4月	日本語 日本語 日本語 日本語	担当者変更(27) 再任用
兼任	講師	シバタ ヒロコキ 柴田 寛幸 (65)	平成25年4月	原簿計算論 原簿計算論	兼任	講師	シバタ ヒロコキ 柴田 寛幸 (67)	平成25年4月	原簿計算論 原簿計算論	
兼任	講師	シミズ マサミ 清水 麻実 (48)	平成25年4月	情報基礎 情報基礎	兼任	講師	シミズ マミ 清水 麻実 (50)	平成25年4月	情報基礎 情報基礎	
兼任	講師	タカハシ ヨシヒロ 高橋 良裕 (47)	平成25年4月	労働法	兼任	講師	タカハシ ヨシヒロ 高橋 良裕 (49)	平成25年4月	労働法	
兼任	講師	タカヤナギ マリ 高柳 真理 (50)	平成25年4月	日本語 日本語 日本語 日本語			後任未定			平成25年3月、高柳真理講師辞任(一身上の都合)に伴い、平成25年度は、沢野美由紀、銅直信子講師による増担任で対応(25)。 平成26年度は開講クラスを減らすことで対応するための(留学生入学者数減)、後任の採用を見送った(26)
兼任	講師	タケイ ミチコ 武井 みち子 (67)	平成25年4月	英語 英語 英語 英語	兼任	講師	タケイ ミチコ 武井 みち子 (69)	平成25年4月	英語 英語 英語 英語	
兼任	講師	ツカモト トシヒラ 塚本 利平 (49)	平成25年4月	簿記論 簿記論	兼任	講師	ツカモト トシヒラ 塚本 利平 (51)	平成25年4月	簿記論 簿記論 税務会計論 税務会計論	担当者変更(27) 鈴木非常勤講師の退職による
兼任	講師	デン フミアキ 田 文揚 (60)	平成25年4月	英語 英語 TOEIC®向上講座 TOEIC®向上講座	兼任	講師	デン フミアキ 田 文揚 (62)	平成25年4月	英語 英語 TOEIC®向上講座 TOEIC®向上講座	
兼任	講師	ドウベタ ノブコ 銅直 信子 (66)	平成25年4月	日本語 日本語 日本語 日本語	兼任	講師	ドウベタ ノブコ 銅直 信子 (67)	平成26年4月	日本語— 日本語— 日本語— 日本語—	「日本語・」は開講クラスを減らしたため担当せず(26) 辞任に伴い担当者変更(27) 担当者 高柳非常勤講師
兼任	講師	ナガシマ ヨシエ 長島 芳枝 (52)	平成25年4月	国際経営論	兼任	講師	ナガシマ ヨシエ 長島 芳枝 (54)	平成25年4月	国際経営論	
兼任	講師	ナルトミ ケイコ 成富 慶子 (41)	平成25年4月	プレゼンテーション論 データベースオペレーション 情報基礎 情報基礎	兼任	講師	ナルトミ ケイコ 成富 慶子 (43)	平成25年4月	プレゼンテーション論 データベースオペレーション 情報基礎 情報基礎	
兼任	講師	ニノミヤ マサヤ 二宮 雅也 (35)	平成25年4月	スポーツ産業論 スポーツビジネス論	兼任	講師	ニノミヤ マサヤ 二宮 雅也 (36)	平成25年4月	スポーツ産業論 スポーツビジネス論	専任教員の担当に変更(26) 専任教員の担当
					専	准教授	タカオカ ヒデキ 高岡 英氣 (37)	平成26年4月	スポーツ産業論 スポーツビジネス論	

兼任	講師	ハマノ カスト 濱野 和人 (32)	平成25年4月	情報基礎 情報基礎	兼任	講師	ハマノ カスト 濱野 和人 (34)	平成25年4月	情報基礎 情報基礎	
兼任	講師	フルカワ ハルオ 古川 晴雄 (64)	平成25年4月	民法 民法	兼任	講師	フルカワ ハルオ 古川 晴雄 (66)	平成25年4月	民法 民法	
兼任	講師	マツフジ カズオ 松藤 和生 (51)	平成25年4月	地域ボランティア活動	兼任	講師	マツフジ カズオ 松藤 和生 (53)	平成25年4月	地域ボランティア活動	
兼任	講師	ミタムラ サトシ 三田村 智 (35)	平成25年4月	企業金融論 企業金融論	兼任	講師	ミタムラ サトシ 三田村 智 (37)	平成25年4月	企業金融論 企業金融論	
兼任	講師	シライ イズミ 白井 泉 (33)	平成25年4月	経営史 経営史 外国経営書講読 外国経営書講読	兼任	講師	シライ イズミ 白井 泉 (33)	平成25年4月	経営史— 経営史—	辞職に伴い担当者変更(26)
					専	准教授	キシモト タイチ 岸本 大一 (35)	平成26年4月	外国経営書講読—	専任教員の担当に変更(25) 辞職に伴い担当者変更(27) 専任教員採用に伴い変更
					専	講師	ヒラヤ ノブヒロ 平屋 伸洋 (33)	平成25年4月	外国経営書講読—	専任教員の担当に変更(25) 他の専任教員に担当者変更(26)
					兼任	講師	サカモト ジュン 坂本 旬 (32)	平成26年4月	経営史 経営史 外国経営書講読—	平成26年3月、白井泉兼任講師辞任 (一身上の都合)により、担当者変更 (26) 担当者変更(27) 専任教員採用に伴い変更
兼任	講師	スズキ アキオ 鈴木 明男 (71)	平成25年4月	税務会計論 税務会計論	兼任	講師	スズキ アキオ 鈴木 明男 (72)	平成26年4月	簿記論— 簿記論— 税務会計論— 税務会計論—	クラス数の増加に伴い、担当教員の 追加(25) 定年退職により兼任講師として 採用(26) 担当者変更(27) 兼任講師退職による
兼任	講師	モリシタ ヨシユキ 森下 嘉之 (34)	平成25年4月	総合科目 「国際社会を知る」	兼任	講師	モリシタ ヨシユキ 森下 嘉之 (36)	平成25年4月	総合科目 「国際社会を知る」	
兼任	講師	ヤマダ ノリヒコ 山田 紀彦 (40)	平成25年4月	総合科目 「国際社会を知る」	兼任	講師	ヤマダ ノリヒコ 山田 紀彦 (41)	平成26年4月	総合科目— 「国際社会を知る」	総合科目 から に変更(25) 担当者変更(27)
					兼任	講師	ホリハ アキコ 堀場 明子 (42)	平成27年4月	総合科目 「国際社会を知る」	山田兼任講師辞任に伴う 担当者変更(27)
兼任	講師	ムン ホイル 文 浩一 (46)	平成25年4月	総合科目 「国際社会を知る」	兼任	講師	ムン ホイル 文 浩一 (48)	平成25年4月	総合科目 「国際社会を知る」	総合科目 から に変更(25)
兼任	講師	オダカ ヤスシ 小高 泰 (46)	平成25年4月	総合科目 「国際社会を知る」	兼任	講師	コンダ リョウヘイ 近田 亮平 (43)	平成26年4月	総合科目 「国際社会を知る」	平成26年小高泰兼任講師辞任(一 身上の都合)により、担当者変更 (26)
兼任	講師	タツミ ユキコ 巽 由樹子 (34)	平成25年4月	総合科目 「国際社会を知る」	兼任	講師	ヨシムラ タカユキ 吉村 貴之 (45)	平成25年4月	総合科目 「国際社会を知る」	平成25年3月、巽由樹子兼任講師辞 任(一身上の都合)に伴い、吉村貴之 兼任講師に担当者変更(25)
兼任	講師	アオヤマ ヒロカズ 青山 博一 (62)	平成25年4月	地域企業経営論	兼任	講師	アオヤマ ヒロカズ 青山 博一 (64)	平成26年4月	地域企業経営論—	担当者変更(27) 三幣利夫教授(兼任)新規担当
兼任	講師	キタダ アツシ 北田 淳 (47)	平成25年4月	地域企業経営論	兼任	講師	キタダ アツシ 北田 淳 (49)	平成26年4月	地域企業経営論—	担当者変更(27) 三幣利夫教授(兼任)新規担当
兼任	講師	イワセ ユウゾウ 岩瀬 雄三 (50)	平成25年4月	地域企業経営論	兼任	講師	イワセ ユウゾウ 岩瀬 雄三 (52)	平成26年4月	地域企業経営論—	担当者変更(27) 三幣利夫教授(兼任)新規担当
兼任	講師	ワシミ トシアキ 鷺見 利昭 (49)	平成25年4月	地域企業経営論	兼任	講師	ワシミ トシアキ 鷺見 利昭 (51)	平成26年4月	地域企業経営論—	担当者変更(27) 三幣利夫教授(兼任)新規担当

< 共通 >

( 1 ) 担当教員表

兼任	教授	ニダイラ コウイチ 仁平 耕一 (61)	平成25年4月	キャリア基礎開発 キャリア基礎開発 キャリア基礎開発 キャリア開発プログラム キャリア教育特殊講義 地域企業経営論 キャリアプランニング 入門経済学	兼任	教授	ニダイラ コウイチ 仁平 耕一 (63)	平成25年4月	キャリア基礎開発 キャリア基礎開発 キャリア基礎開発 キャリア開発プログラム キャリア教育特殊講義 地域企業経営論 キャリアプランニング 入門経済学	担当者変更(27)
					兼任	教授	サンベイ トシオ 三幣 利夫 (69)	平成25年4月	地域企業経営論	担当者変更(27)
兼任	教授	ワダ リョウコ 和田 良子 (48)	平成25年4月	文章表現 口頭表現 基礎数学 入門経済学  敬天愛人講座   マクロ経済学 マクロ経済学	兼任	教授	ワダ リョウコ 和田 良子 (50)	平成25年4月	文章表現 口頭表現 基礎数学 入門経済学  敬天愛人講座	26年後期より27年前期まで 海外留学のため担当者変更(27)  担当者変更(オムニバス講義) (26)
					専	教授	モリシ タカハル 森島 隆晴 (55)	平成25年4月	文章表現 口頭表現 基礎数学	担当者変更(27)
					兼任	教授	ニダイラ コウイチ 仁平 耕一 (63)	平成25年4月	マクロ経済学 マクロ経済学	平成25年度は、和田教授がミクロ経済学、仁平教授がマクロ経済学を担当を変更(25)
兼任	教授	コバヤシ タダシ 小林 忠 (64)	平成25年4月	プログラミング入門(VB) VBプログラミング 統計学 統計学 数学 数学	兼任	教授	コバヤシ タダシ 小林 忠 (66)	平成25年4月	プログラミング入門(VB) VBプログラミング 統計学 統計学 数学 数学	高等学校教諭(情報)の課程認定 取下げに伴い休講科目とする(27)
兼任	准教授	ハバ マサヒロ 馬場 正弘 (50)	平成25年4月	日本経済論 日本経済論 経済政策 経済政策 入門経済学	兼任	准教授	ハバ マサヒロ 馬場 正弘 (52)	平成25年4月	日本経済論 日本経済論 経済政策 経済政策 入門経済学	
兼任	教授	ドイ オサム 土井 修 (67)	平成25年4月	敬天愛人講座	兼任	教授	ドイ オサム 土井 修 (69)	平成25年4月	敬天愛人講座 入門経済学	担当者変更(オムニバス講義) (26) 教育課程の充実を図るため、担当者を追加(25)
兼任	教授	コヤマ ユキノブ 小山 幸伸 (49)	平成25年4月	入門経済学	兼任	教授	コヤマ ユキノブ 小山 幸伸 (51)	平成25年4月	入門経済学 敬天愛人講座	担当者変更(オムニバス講義) (26)
兼任	教授	マキノ トシシゲ 牧野 俊重 (70)	平成25年4月	入門経済学	兼任	教授	マキノ トシシゲ 牧野 俊重 (74)	平成25年4月	入門経済学	牧野俊重教授(兼任)定年退職(27)
					兼任	講師	シモトマイ ヒデユキ 下斗米 秀之 (30)	平成27年4月	入門経済学	専任教員採用により、担当者変更(27) 平成26年9月16日 教員審査済
兼任	教授	カモガワ マスロウ 加茂川 益郎 (67)	平成25年4月	入門経済学	兼任	教授	カモガワ マスロウ 加茂川 益郎 (69)	平成25年4月	入門経済学	
兼任	教授	オリハラ ユタカ 折原 裕 (61)	平成25年4月	入門経済学	兼任	教授	オリハラ ユタカ 折原 裕 (63)	平成25年4月	入門経済学 敬天愛人講座	担当者変更(オムニバス講義) (26)
兼任	教授	イイノ ユミコ 飯野 由美子 (58)	平成25年4月	入門経済学	兼任	教授	イイノ ユミコ 飯野 由美子 (60)	平成25年4月	入門経済学	
兼任	准教授	ホシ マサミ 星 真実 (45)	平成25年4月	入門経済学 敬天愛人講座	兼任	教授	ホシ マサミ 星 真実 (47)	平成25年4月	入門経済学 敬天愛人講座	平成25年4月付教授昇格(25) 担当者変更(オムニバス講義) (26)
					兼任	教授	ナカヤマ ユキオ 中山 幸夫 (59)	平成25年4月	敬天愛人講座	担当者変更(オムニバス講義) (27)
兼任	准教授	カネコ リンタロウ 金子 林太郎 (35)	平成25年4月	入門経済学	兼任	准教授 教授	カネコ リンタロウ 金子 林太郎 (37)	平成25年4月	入門経済学 敬天愛人講座	教授昇格(27) 平成26年12月2日 教員審査済 教育課程の充実を図るため、担当者を追加(25) 担当者変更(オムニバス講義) (26)
兼任	講師	ソエダ トシミツ 添田 利光 (42)	平成25年4月	入門経済学	兼任	講師	ソエダ トシミツ 添田 利光 (44)	平成25年4月	入門経済学	
兼任	講師	ハガ タグヒコ 芳賀 理彦 (41)	平成25年4月	英語 英語 英語 英語	兼任	講師	ハガ タグヒコ 芳賀 理彦 (43)	平成25年4月	英語 英語 英語 英語	

兼任	教授	ナカムラ ケイソウ 中村 圭三 (65)	平成25年4月	環境科学	兼任	教授	ナカムラ ケイソウ 中村 圭三 (67)	平成25年4月	環境科学	
兼任	教授	カクシヨウ トヨカズ 覚正 豊和 (62)	平成25年4月	法学	兼任	教授	カクシヨウ トヨカズ 覚正 豊和 (64)	平成25年4月	法学 敬天愛人講座	担当者変更(オムニバス講義) (27)
兼任	教授	タカハシ カズコ 高橋 和子 (62)	平成25年4月	情報概論 敬愛プログラム	兼任	教授	タカハシ カズコ 高橋 和子 (64)	平成25年4月	情報概論 敬愛プログラム	
兼任	教授	ヤマモト タケシ 山本 健 (61)	平成25年4月	歴史学	兼任	教授	ヤマモト タケシ 山本 健 (63)	平成25年4月	歴史学	
兼任	教授	クシダ ヒサヨ 榎田 久代 (46)	平成25年4月	日本の政治 政治学	兼任	教授	クシダ ヒサヨ 榎田 久代 (48)	平成25年4月	日本の政治 政治学 敬天愛人講座	担当者変更(オムニバス講義) (26)
兼任	教授	イエチカ リョウコ 家近 亮子 (61)	平成25年4月	アジアの歴史と社会	兼任	教授	イエチカ リョウコ 家近 亮子 (63)	平成26年4月	アジアの歴史と社会 敬天愛人講座—	担当者変更(オムニバス講義) (26) 担当者変更(27)
兼任	教授	ミズグチ アキラ 水口 章 (59)	平成25年4月	総合科目 「国際社会を知る」	兼任	教授	ミズグチ アキラ 水口 章 (61)	平成25年4月	総合科目 「国際社会を知る」	
兼任	教授	サンベイトシオ 三幣 利夫 (67)	平成25年4月	敬天愛人講座	兼任	教授	サンベイトシオ 三幣 利夫 (68)	平成25年4月	敬天愛人講座—	担当者変更(オムニバス講義) (26)
兼任	教授	イケヤ ミサコ 池谷 美佐子 (65)	平成25年4月	敬天愛人講座	兼任	教授	イケヤ ミサコ 池谷 美佐子 (66)	平成25年4月	敬天愛人講座—	担当者変更(オムニバス講義) (26)
					兼任	教授	タカダ ヨウコ 高田 洋子 (61)	平成25年4月	敬天愛人講座—	教育課程の充実を図るため、担当者を追加(25) 担当者変更(オムニバス講義) (26) 担当者変更(27)
					兼任	准教授	ハタナカ チアキ 畑中 千晶 (44)	平成25年4月	敬天愛人講座—	教育課程の充実を図るため、担当者を追加(25) 担当者変更(オムニバス講義) (26)
兼任	講師	アベ ヨウコ 阿部 容子 (36)	平成25年4月	国際貿易論			後任未定			平成25年3月、阿部容子兼任講師辞任(一身上の都合)のため、平成25年4月より、後任教員を公募中。後期開講を予定(25)。
					兼任	教授	オリイ ケイスケ 織井 啓介 (58)	平成26年4月	国際貿易論	織井啓介教授(国際学部)の大学共通科目とする(26)
兼任	講師	キクチ マユミ 菊池 真弓 (42)	平成25年4月	社会学	兼任	講師	キクチ マユミ 菊池 真弓 (45)	平成25年4月	社会学	
兼任	講師	ノザワ モトヤス 野澤 基恭 (53)	平成25年4月	国際法 国際法	兼任	教授	ショウジ マリコ 庄司 真理子 (58)	平成25年4月	国際法 国際法	平成25年3月、野澤基恭兼任講師辞任(一身上の都合)に伴い、庄司真理子教授(国際学部)の大学共通科目とする(25)
兼任	講師	ヤマウチ ヨシヒロ 山内 義廣 (67)	平成25年4月	憲法 憲法	兼任	教授	カクシヨウ トヨカズ 覚正 豊和 (63)	平成25年4月	憲法 憲法	平成25年3月、山内義廣兼任講師辞任(一身上の都合)に伴い、覚正豊和教授(国際学部)を担当変更とする(25)
兼任	講師	ワタナベ ヨシツグ 渡辺 善次 (36)	平成25年4月	ミクロ経済学 ミクロ経済学	兼任	教授	ワダ リョウコ 和田 良子 (50)	平成25年4月	ミクロ経済学 ミクロ経済学	平成25年3月、渡辺善次兼任講師辞任(一身上の都合)に伴い、和田良子教授(経済学部)を担当変更とする(25)
兼任	講師	カベヤ アキヨシ 壁谷 彰慶 (37)	平成25年4月	哲学	兼任	講師	カベヤ アキヨシ 壁谷 彰慶 (39)	平成25年4月	哲学	
					兼任	講師	ナガトロ マサユキ 長戸路 政行 (83)	平成25年4月	敬天愛人講座	教育課程の充実を図るため、担当者を追加(25)
					兼任	講師	クテノ ウケタ 館野 受男 (83)	平成25年4月	敬天愛人講座	教育課程の充実を図るため、担当者を追加(25)
					兼任	講師	カクタ アキラ 角田 徹 (71)	平成25年4月	敬天愛人講座	教育課程の充実を図るため、担当者を追加(25)

- (注)・ 申請書の様式第3号(その2の1)に準じて作成してください。  
 なお、当該設置に係る学部、学科等に所属しない教員であって、全学共通、学部共通などの授業科目を担当する教員組織に所属している場合は、学部 学科 の箇所を「共通」とし、表を分けて作成してください。  
 ・ 後任が決まっていない場合には、「後任未定」と記入してください。  
 ・ 辞任者は「備考」に退職年月、氏名、理由を記入してください。  
 ・ 年齢は、「**設置時の計画**」には当該学部等の就任時における満年齢を、「**変更状況**」には平成27年5月1日現在の満年齢を記入してください。  
 ・ 教員を学年進行中に変更した又は変更する予定の場合(「新規採用」、「担当授業科目の変更」又は「昇格」をいう。)は、変更後の状況を記入するとともに、その理由、後任者が決まっていない場合は、「変更状況」の「氏名」に「後任未定」と記入し、及び今後の採用計画を「備考」に記入してください。  
 ・ **風可で設置された学部等の専任教員を変更する場合は、当該専任教員が授業を開始する前に必ず「専任教員採用等設置計画変更書」を提出し、大学設置・学校法人審議会による教員資格審査(AC教員審査)を受けてください。AC教員審査を受けずに専任教員として授業等を担当することは出来ません。**  
 ・ 「専任教員採用等変更書(AC)」を提出し「可」の教員判定を受けている場合は「年 月教員審査済」、変更書を提出予定の場合は「年 月変更書提出予定」と記入してください。  
 なお、設置認可審査時に教員審査省略となっている場合は、「備考」に「(教員審査省略)」及びその変更の理由、変更年度( )書き等のみを記入してください。

(2) 専任教員数

設置時の計画					変更状況					年齢構成		年齢構成(前年度の状況)	
教授	准教授	講師	助教	計	教授	准教授	講師	助教	計	定年規定の定める定年年齢	定年を延長している教員数	定年規定の定める定年年齢	定年を延長している教員数
7	3	2	0	12	7	3	2	0	12	70	1	70	2
(7)	(3)	(2)	(0)	(12)	[0]	[0]	[0]	[0]	[0]	歳	名	歳	名

- (注)・「設置時の計画」には、設置時に予定されていた完成年度時の人数を記入するとともに、( )内に開設時の状況を記入し、「変更状況」には、平成27年5月1日現在(就任予定の者を含む)の状況を記入するとともに、[ ]内に設置時の計画との増減数を記入してください。(記入例：1名減の場合： 1)
- ・「年齢構成」には、当該学部における教員の定年に関する規定に基づく定年年齢(特例等による定年年齢ではありません)、および、平成27年5月1日現在、定年に関する規定に基づく特例等により定年を超えて専任教員として採用されている教員数を記入してください。
  - ・なお、職位等によって定年年齢が異なる場合には、職位ごとの定年年齢を「定年規定の定める定年年齢」に二段書きで記入し、「定年を延長している教員数」には合算した数を記入してください。
  - ・「年齢構成(前年度の状況)」については、報告書提出の前年度の状況を記載してください。今年度初めて報告書を提出する場合は記入不要ですので、「-」を記入してください。

(3) 専任教員辞任等の理由

番 号	職 位	専任教員氏名	辞任（就任辞退を含む）等の理由
1	教授	藤田 明男	一身上（健康上）の理由に伴う退職のため（平成25年3月31日付け）（25）
2	教授	畢 滔滔	一身上の理由に伴う退職のため（平成25年3月31日付け）（25）
3	准教授	岸本 太一	一身上の理由に伴う退職のため（平成26年3月31日付け）（26）

- (注)・ 専任教員の辞任等の理由について、可能な限り具体的に記入してください。  
 ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに辞任等した場合、赤字にて記入するとともに、「辞任（就任辞退を含む）等の理由」に辞任理由等および（ ）書きで報告年度を記入してください。

(4) 専任教員交代に係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

当初、就任を予定していた専任教員(教授)2名が急遽、一身上の都合で辞任することとなった。これを受け、平成26年4月付け採用を予定していた専任教員1名を平成25年4月付けで採用し、学生の修学指導を担保することとした。ただし、辞任した教員(2名)とは専門分野が異なり、特に、辞任した教員のうち1名は、1年次生の履修対象科目である「健康科学」「スポーツ教育」を専門としていた為、平成25年度は兼任教員での代替えを実施し、また、もう1名の教員の担当科目(流通・マーケティング)については、同分野を専門とする専任教員で対応することとした。平成26年4月採用に向け、3月中に公募教員の資格等を確認し、4月1日より公募を開始している。なお、現行1年次生が2年次生に進級した際に支障がでないように対応している。今回、届出設置をした経営学科1年次生の履修対象科目ではない為、この代替え措置により、学生の履修上の不利益は生じないと判断した。(25) 既存学科2年次以上については、年度当初の履修ガイダンスで開講科目に関する説明を行い、学生への周知を徹底した。

平成26年3月末日付で専任教員(准教授)1名が、一身上の都合で辞任することとなった。当該教員が担当していた科目のうち、「経営戦略論」「中小企業論」「卒業演習」「卒業論文」については平成26年度は引き続き、兼任講師として担当することで学生が修学上、不利益を被ることがないように対応した。また、「基礎演習」「専門導入演習」「専門演習」は平成26年度は他の専任教員に代替する措置をとった。なお、後任については平成27年度4月着任の方向で採用するべく、3月中に公募教員の資格等を確認し、すでに公募を開始している。今回、未開講科目は、開講対象学年(3年次)に在学生在が到達していないことから、学生の履修上の不利益は生じないと判断した。在学生には履修ガイダンスで開講科目に関する説明を行い、周知を徹底した。(26)

- (注)・ 上記(3)の専任教員辞任等による学生の履修等への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を記入してください。

## 6 留意事項等に対する履行状況等

区 分	留 意 事 項 等	履 行 状 況	未履行事項について の実施計画
設 置 時 (平成25年4月)	「該当なし」		「該当なし」
設置計画履行状況 調 査 時 (平成25年4月)	「該当なし」		「該当なし」
設置計画履行状況 調 査 時 (平成26年4月)	「該当なし」		「該当なし」
設置計画履行状況 調 査 時 (平成27年4月)	「該当なし」		「該当なし」

(注)・「設置時」には、当該大学等の設置時に付された留意事項(学校法人の寄附行為又は寄附行為変更の認可の申請に係る留意事項を除く。)と、それに対する履行状況等について、具体的に記入し、報告年度を( )書きで付記してください。

- ・ 「設置計画履行状況調査時」には、当該設置計画履行状況調査の結果、付された意見に対する履行状況等について、具体的に記入するとともに、その履行状況等を裏付ける資料があれば、添付してください。
- ・ 定員管理に係る留意事項への履行状況は、指摘を受けた学科等についてのみ記入してください。
- ・ 該当がない場合には、「該当なし」と記入してください。

## 7 その他全般的事項

<経済学部 経営学科>

### (1) 設置計画変更事項等

認可時の計画	変更内容・状況、今後の見通しなど
<p>記入例)</p> <p>修了要件単位数 1 2 4 単位 必修科目 単位, 選択科目 単位</p> <p>施設・設備</p> <p>a 講義室 室( m<sup>2</sup>) b 自習室 室( m<sup>2</sup>) c 図書 冊</p>	<p>学生の専門性をより高めるため、必修科目(1科目・2単位)を追加。(別添 「新旧対象表」参照)</p> <p>学生の修学環境を改善するため、講義室、自習室をそれぞれ 部屋( m<sup>2</sup>)増やすとともに、図書も 冊増書した。</p>
<p>「該当なし」</p>	<p>経営学科の3つコースに、必修とされている科目「地域企業経営実習、アジアビジネス実習、スポーツビジネス実習」は、インターンシップ科目である。当初は、学内教員の指導の下実施する予定であったが、その実情に併せ現場経験の豊富な経済人4名をサポート役に任用し、授業を实践する共に、ゼミ担当教員のみならず、経営学科所属教員全員で指導に当たる事とした。</p>

(注)・ 1～6の項目に記入した事項以外で、設置認可時の計画より変更のあったもの(未実施を含む。)

及び法令適合性に関して生じた留意すべき事項について記入してください。

- ・ 認可申請書の「設置の趣旨等を記載した書類」の項目に沿って作成し、それ以外の事柄については適宜項目を設けてください。(記入例参照)

## (2) 教員の資質の維持向上の方策（FD活動含む）

### 実施体制

#### a 委員会の設置状況

「敬愛大学FD委員会規程」(平成20年4月1日)を制定した。この規程に基づき、学長を中心とするFD委員会を設置した。

#### 敬愛大学ファカルティ・ディベロップメント（FD）委員会規程

#### （目的）

第1条 この規程は、授業の内容及び方法の改善を図るため組織的な研修及び研究を実施するために設置された敬愛大学FD委員会（以下「委員会」という。）の運営等について定める。

#### （構成）

第2条 委員会は、次の委員をもって組織する。

- 一 学長
  - 二 各学部長
  - 三 教務部長
  - 四 各学部の教務委員長
  - 五 学長が委嘱する委員 若干名
- 2 委員長は学長とし、副委員長は学長が指名した委員をもって充てる。
- 3 委員の任期は2年とする。ただし、再任を妨げない。

#### （審議事項）

第3条 委員会は、各学部のFD活動が持続的に実施されるよう次の事項について審議する。

- 一 FD活動の企画立案に関する事項
- 二 FD活動の実施計画の立案に関する事項
- 三 FD活動の評価に関する事項
- 四 FD活動に関する情報収集と提供に関する事項
- 五 その他FD活動の推進に関する事項

#### （会議）

第4条 委員会の会議は、委員長が招集し、議長となる。

- 2 委員長に事故があるときは、副委員長がその職務を行う。
- 3 委員長が必要と認めた場合、委員以外の者を出席させることができる。
- 4 委員長は、委員の過半数をもって成立し、出席者の過半数により議決する。

#### （庶務）

第5条 委員会の庶務は、修学支援室が行う。

#### （改廃）

第6条 この規程は、委員会の議を経て大学評議会の承認を要する。

#### 附 則

- 1 この規程は、平成20年 4月 1日から施行する。
- 1 この規程は、平成21年11月 1日から施行する。
- 1 この規程は、平成27年 4月 1日から施行する。

b 委員会の開催状況（教員の参加状況含む）

- 第1回 F D 委員会（平成21年12月22日）  
出席者：学長、経済学部長、国際学部長、教務部長（学長補佐）、経済学部教務委員長、  
国際学部教務委員長
- 第2回 F D 委員会（平成22年 2月23日）  
出席者：学長、経済学部長、国際学部長、教務部長（学長補佐）、経済学部教務委員長、  
国際学部教務委員長
- 第3回 F D 委員会（平成22年3月30日）  
出席者：学長、経済学部長、国際学部長、教務部長（学長補佐）、経済学部教務委員長、  
国際学部教務委員長
- 第4回 F D 委員会（平成22年5月25日）  
出席者：学長、経済学部長、国際学部長、教務部長（学長補佐）、経済学部教務委員長、  
国際学部教務委員長
- 第5回 F D 委員会（平成22年9月21日）  
出席者：学長、経済学部長、国際学部長、教務部長（学長補佐）、経済学部教務委員長、  
国際学部教務委員長
- 第6回 F D 委員会（平成23年3月1日）  
出席者：学長、経済学部長、国際学部長、教務部長（学長補佐）、経済学部教務委員長、  
国際学部教務委員長
- 第7回 F D 委員会（平成23年5月24日）  
出席者：学長、経済学部長、国際学部長、教務部長、経済学部教務委員長、  
国際学部教務委員長
- 第8回 F D 委員会兼学園合同研修会（平成23年8月22日）  
出席者：敬愛大学全教員、千葉敬愛短期大学全教員
- 第9回 F D 委員会（平成23年10月4日）  
出席者：学長、経済学部長、国際学部長、教務部長、経済学部教務委員長、  
国際学部教務委員長
- 第10回 F D 委員会（平成23年12月6日）  
出席者：学長、経済学部長、国際学部長、教務部長、経済学部教務委員長、  
国際学部教務委員長
- 第11回 F D 委員会（平成24年6月12日）  
出席者：学長、経済学部長、国際学部長、教務部長、学生部長、経済学部教務委員長、  
国際学部教務委員長、武内教授
- 第12回 F D 委員会（平成24年10月11日）  
出席者：学長、経済学部長、国際学部長、教務部長、学生部長、経済学部教務委員長、  
国際学部教務委員長、武内教授
- 第13回 F D 委員会（平成25年6月4日）  
出席者：学長、経済学部長、国際学部長、教務部長、学生部長、経済学部教務委員長、  
国際学部教務委員長、武内教授

- 第14回 F D 委員会（平成25年10月22日）  
出席者：学長、経済学部長、国際学部長、教務部長、学生部長、経済学部教務委員長、国際学部教務委員長、武内教授
- 第15回 F D 委員会（平成26年6月10日）  
出席者：学長、経済学部長、国際学部長、教務部長、学生部長、経済学部教務委員長、国際学部教務委員長、武内教授
- 第16回 F D 委員会（平成26年11月25日）  
出席者：学長、経済学部長、国際学部長、教務部長、学生部長、経済学部教務委員長、国際学部教務委員長、武内教授

c 委員会の審議事項等

- ・ 第三者評価に関する事項
- ・ 他大学の F D 活動の研究に関する事項
- ・ 平成23年度の F D 活動に関する事項
- ・ 学生による授業評価に関する事項
- ・ F D 研修会に関する事項
- ・ その他、今後の F D 活動の運営に関する事項

実施状況

a 実施内容

1. 授業評価アンケート
  - ・ 学生による授業評価アンケートとして実施した。
  - ・ 昨年に引き続き、学生による授業アンケートを実施し、そのアンケートを基に担当者に授業改善を求めた。
2. 授業参観の実施
  - ・ 教員相互の授業参観を実施し、参観後に報告書の提出を義務付けている。
3. F D 講演会
  - ・ F D 活動と大学の教育力向上について理解を深めるための啓蒙活動として実施した。
  - ・ 3. 1 1 の東日本大震災を教訓とした、大学の安全管理・危機管理能力向上についてについて理解を深めるために実施した。
  - ・ 国内外の動向や背景など大きな流れを踏まえた上で「大学改革実行プラン」の講演を基に大学の機能の再構築と大学ガバナンスの充実・強化の必要性の再確認のため実施した。
  - ・ キャンパス内で認識の希薄さによるアカハラ、教育現場としての人間関係の特殊性に注目し、被害者と行為者の視点を再認識するために実施した。
4. F D 研修会
  - ・ 初年次教育としての1年「基礎演習」のあり方について理解を深めるために実施した。
  - ・ 現代大学生の生活と意識調査を分析し、学生に対する理解を深めるために実施した。
  - ・ 昨年の分析を基に「敬愛大生の素顔」をテーマに本学学生の行動を理解するために実施した。
  - ・ 再度原点に戻り、「建学の精神(敬天愛人)」を全教職員に浸透させることを目的として実施した。
  - ・ アクティブラーニング授業の実践について、事例をもとに取組みの事例講演を実施した。
5. 学生満足度調査
  - ・ 学生による大学の生活実態調査をアンケート調査として実施した。
  - ・ 昨年に引き続き、学生による大学生の生活実態調査のアンケートを実施した。

b 実施方法

1. 授業評価アンケート
  - ・ 全教員（専任、非常勤）が実施することを原則とした。
  - ・ 演習・オムニバス・特別教育科目を除いて、開講科目すべてについて実施した。
  - ・ 学生の回答は無記名方式とし、授業評価アンケートが当該科目の評価に影響しないように配慮した。

## 2. F D 講演会

- ・ 濱名篤氏（関西国際大学学長・理事長）を講師として、全教職員に対して以下のテーマで講演を実施した。（平成22年6月29日）  
テーマ：大学の教育力を高める者は何か 関西国際大学初年次教育からの提言
- ・ 堀口瑞穂氏（S U S P O R T 代表）を講師として、大学、短期大学の全教職員に対して以下のテーマで講演を実施した。（平成23年8月22日）  
テーマ：私立学校の教職員がもつべき危機管理意識（東日本大震災を教訓として）
- ・ 小林雅之氏（東京大学大学総合研究センター）を講師として、大学、短期大学の全教職員に対して「大学改革の動向と大学改革実行プラン」のテーマで講演を実施した。（平成24年8月21日）
- ・ 北上眞理子氏（公益法人21世紀職業財団 常勤講師）を講師として、大学、短期大学の全教職員に対して「キャンパスにおけるハラスメント防止のために」のテーマで講演を実施した。（平成25年8月21日）
- ・ 諸富祥彦氏（明治大学教授・教育学博士、臨床心理士）を講師として、全教職員に対して以下のテーマで講演を実施した。（平成26年8月21日）  
テーマ：教員のメンタルヘルスについて
- ・ 山本雅淑氏（大正大学教授 元 日本私立学校振興・共済事業団 私学経営情報センター長）を講師に迎え、以下のテーマで講演を実施した。  
テーマ：大学改革を本気で進めるには（平成26年8月26日）

## 3. F D 研修会

- ・ 高田洋子（国際学部教授）、畑中千晶（国際学部准教授）を講師として、以下のテーマについて講演と事例報告を行い、初年次ゼミの重要性について周知を図った。（平成22年11月30日）  
テーマ：初年次教育としての「1年基礎演習」をどう運営するか。
- ・ 折原経済学部教務委員長、高橋国際学部教務委員長を講師として、以下のテーマについて講演と事例報告を行い、リメディアル教育の必要性を再認識した。（平成23年6月21日）  
テーマ：リメディアル教育の現状と課題
- ・ 武内 清（国際学部教授）を講師として、学生のアンケート集計を基に、以下のテーマについて講演と事例報告を行い、今後の大学のあり方について再考するものとする。（平成24年2月24日）  
テーマ：現代大学生の生活と意識
- ・ 学内教員の調査取りまとめ基調報告（平成25年2月26日）  
高橋 和子教授 「敬愛大学生の学生実態調査概要 日本人学生と留学生、学科の違いにも注目して」  
藤井 輝男教授 「授業満足度向上のために 満足度を決めるものは？」  
武内 清教授 「大学生の意識と満足度 学年の違いを中心に」  
田中 未央講師 「敬愛大学学生調査から これからの大学教育を考える」  
田中 未央講師 「大学に対する学生の要望についての実態調査 K J 法を用いた調査の試み」
- ・ 「建学の精神に立ち返り」（平成25年2月26日）  
千葉敬愛学園 学園長 長戸路 先生、長戸路学園 理事 角田 先生を講師に迎え  
建学の精神(敬天愛人)の浸透を目的として実施した。
- ・ 「アクティブラーニング型授業の実践」（平成26年8月26日）  
本学 経済学部 教授 森島 先生、国際学部 准教授 山口を講師に、実践の実例をもとに研修会を行った。

## 4. 学生満足度調査

- ・ ゼミの授業時間中、所属学生に対し無記名による大学満足度調査を実施し、F D 研修会の検討資料とした。
- ・ 平成26年度卒業生より、卒業式当日に無記名による「卒業生満足度調査」を実施。

## c 開催状況（教員の参加状況含む）

### 1. 授業評価アンケート

- ・ 両学部の全教員が該当科目についてアンケートを実施した。
- ・ 厳格に実施するため、アンケート回収直後に事務局に持参することを周知徹底した。

### 2. F D 講演会・F D 研修会

- ・ 全専任教員（出張、公務等で不在の者を除く）が参加した。
- ・ 窓口対応等で席を外せない者を除いて、多くの事務局職員も参加した。

## d 実施結果を踏まえた授業改善への取組状況

### 1. 授業評価アンケート

- ・ 学生の回答（選択式）、要望（記述式）を踏まえた「授業改善報告書」の提出を義務付ける。
- ・ 教員は、授業アンケートの実施、集計結果の確認、「授業改善報告書」の提出等通じて、次回の評価に向けて授業の改善を図ることに努めている。

### 2. F D 講演会・F D 研修会

- ・ 初年次ゼミが初年次教育の中核であることを理解するとともに、初年次ゼミの内容および方法について教育（授業）実践を通じて継続的に研究、検討を重ねていくことの必要性を確認した。
- ・ 現代大学生の実態調査を通じて、今の学生気質を把握することにより中退抑止等学生指導の充実に努める。
- ・ 講義中心の授業から問題解決型授業への展開が注目されている中で、学内でいち早く実践している教員による事例を基に全教員に意識改革を図ることを目的としている。

学生に対する授業評価アンケートの実施状況

- a 実施の有無及び実施時期
- ・ 両学部の全教員が該当科目についてアンケートを実施した。
  - ・ 厳格に実施するため、アンケート回収直後に事務局に持参することを周知徹底した。
  - ・ アンケートの実施は、最終講義日に実施し、結果を集計し次年度以降の授業改善に繋がるようにした。
- b 教員や学生への公開状況，方法等
- ・ 授業開始に合わせ、アンケートの集計結果を全教員に配布し、併せて学内において全教職員が閲覧可能とした。
  - ・ 図書館内に授業評価を集計した冊子を配架し、学生が閲覧可能とした。

(注) ・ 「 a 委員会の設置状況」には、関係規程等を転載又は添付すること。  
・ 「実施状況」には、実施されている取組を全て記載すること。(記入例参照)  
・ 「事前伺い」により設置された学部等については、当該項目を記載する必要はありません。

(3) 自己点検・評価等に関する事項

設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見  
学則に基づき、「教育研究水準の向上を図り、大学の目的及び社会的使命を達成するため、自ら点検及び評価を行い、その結果を社会へ公表する」ことを目的として設置しており、大学の諸活動について全学的な自己点検・評価を実施し、その結果を本学HP等で広く社会に公表している。  
現状として、まだ点検・評価活動が十分に実施されているとは言い難い状況であるため、より一層、内部質保証システムが機能するよう整備していく必要がある。

自己点検・評価報告書

- a 公表(予定)時期
- ・ 平成27年4月10日 公表済
- b 公表方法
- ・ 大学ホームページ上での公開
  - ・ 自己点検・評価報告書を平成27年6月刊行予定。  
(私立大学協会加盟大学、千葉県内の大学及び近隣図書館等に各1冊を配布予定)

認証評価を受ける計画

- ・ 平成26年度実施済 (次回は平成33年度予定)

(注) ・ 届出時の計画の変更(又は未実施)の有無に関わらず記入してください。  
また、「設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見」については、できるだけ具体的な根拠を含めて記入してください。  
なお、「自己点検・評価報告書」については、当該調査対象の組織に関する評価内容を含む報告書について記入してください。  
・ 「事前伺い」により設置された学部等については、当該項目を記載する必要はありません。

(4) 情報公表に関する事項

設置計画履行状況報告書

- a ホームページに公表の有無 (  有  無 )
- b 公表時期(未公表の場合は予定時期) ( 平成27年 10月 1日 )